

2022

臨床研修(初期・専門)のご案内

Information on clinical training 2022



KYORIN



杏林大学医学部附属病院

<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

眞・善・美の探究

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL



杏林大学医学部附属病院 診療センター・診療科

高度救命救急センター	脳神経内科	泌尿器科
臓器・組織移植センター	感染症科	眼科
熱傷センター	高齢診療科	耳鼻咽喉科
総合周産期母子医療センター	精神神経科	産婦人科
腎・透析センター	小児科	放射線科
がんセンター	上部消化管外科	放射線治療科
脳卒中センター	下部消化管外科	麻酔科
造血細胞治療センター	肝胆膵外科	腫瘍科
人間ドック	呼吸器・甲状腺外科	リハビリテーション科
	乳腺外科	救急総合診療科
呼吸器内科	小児外科	
循環器内科	脳神経外科	病理診断科
消化器内科	心臓血管外科	臨床検査部
糖尿病・内分泌・代謝内科	整形外科	
血液内科	皮膚科	
腎臓・リウマチ膠原病内科	形成外科・美容外科	

許可病床数 **1,153床**

外来患者数 **1,934人**
(1日平均・救急含む)

入院患者数 **774人**
(1日平均)

救急外来患者数 **56人**
(1日平均)

ご挨拶



働きやすい環境で 研修しませんか

病院長
近藤 晴彦

当院は、東京都人口の約3分の1を占める多摩地域で唯一の大学病院本院です。周辺には井の頭公園や神代植物公園など昔の武蔵野の面影を残す緑豊かな名所が数多く残っており、働く環境にも恵まれております。高度救命救急センターでは東京都ドクターヘリの基幹施設としての活動も開始しており、その他、総合周産期母子医療センター、脳卒中センターなどの専門性が高い救急医療から1、2次救急まで、24時間の救急体制をとっております。一方で、難治性の慢性疾患診療や高難度手術等にも各診療科の優秀なスタッフが取り組んでおります。このため、当院の研修プログラムでは、救急医療からcommon disease、さらには希少な疾患まで幅広く研修することができます。また、医師の働き方改革にも十分配慮したプログラムにもなっております。一昨年から大きな社会問題になっている新型コロナウイルス感染症にも系統的な対策を講じております。当院の理念は「あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供します」で、診療科の垣根にこだわらず患者さん中心の医療をしていますが、医師教育のモットーは「良医を育てる」です。病院としても初期研修医の皆さんが充実した研修ができるように応援いたします。



初期研修も専門研修も 杏林大学病院で

総合研修センター長
要 伸也

医学生、研修医の皆さんこんにちは。私からは、当院の教育・研修体制について簡単に紹介させていただきます。当院は高度機能を持つ大学病院でありながら、同時に地域の中核施設としての役割も果たしており、極めて幅広い疾患を診ることが出来ます。このことは大きな利点ですが、私が強調したいのは、病院全体が、各領域の専門家集団として、一丸となって臨床に取り組むだけでなく、教育熱心な気風に満ち溢れていることです。各科の上級医は多くが「研修指導医のための講習会」を受講し、効果的な指導法を習得済みです。また、研修医室、研修医講義室、クリニカルシミュレーションラボラトリー、リモートアクセス可能な電子図書館、「UpToDate」などのデータベースなど、設備面でも充実しています。子育て医師のキャリア形成を支援する制度があり、働き方を選択できるのも強みです。感染対策を含めて安全面への配慮も万全ですので、安心して臨床能力を伸ばすことができます。このように、充実した応援体制が整っており、すべての先生方に適した初期研修、専門研修が行えることを確信します。見学も随時受け付けていますので、連絡をお待ちしています（連絡先は裏表紙参照）。

CONTENTS

●ご挨拶	02
●病院概要	02
●初期臨床研修	03
●研修環境	05
●病院・キャンパスと周辺のご案内	07
●専門研修	09
●アクセス	裏表紙

熱心な指導により、医師としての基本的な能力(知・技・心)の習得を支援します

Initial clinical training

初期臨床研修の理念と目標

杏林大学医学部附属病院の初期臨床研修は、将来選択する専門領域にかかわらず、その土台となる以下の基本的臨床能力の習得を目標とします。

- ① 医師にふさわしい責任感・倫理観を身につける。
- ② 患者の立場・気持ちを深く理解し、思いやることができる。
- ③ 頻度の高い疾患・病態に関する適切な知識を有し、それを個々の患者に応用できる。
- ④ 患者の病状をよく把握し、適切な検査・治療を計画できる。
- ⑤ 患者、家族に対して検査・治療の説明を適切に行い、同意を得ることができる。
- ⑥ 医療スタッフとコミュニケーションをよく取り、よい人間関係を築く。
- ⑦ ルールを遵守し安全な医療を実践する。
- ⑧ 適切な基本的診察・検査・治療技能を身につける。



この目標の達成のため、次のような研修を提供します。

- ① 将来進みたい領域に合わせて2種類のプログラムを用意しました。
- ② 一次から三次まで幅広い救急研修ができます。
- ③ 8週間の麻酔科研修により、気管挿管などの手技、呼吸管理や体液管理などがマスターできます。
- ④ 地域医師会・僻地の病院との連携により、有意義な地域医療研修が行えます。
- ⑤ 症例数が豊富でハイレベルな専門診療科において高い診療能力を身につけることができます。
- ⑥ 侵襲的な手技を安心して繰り返し練習できるクリニカル・シミュレーション・ラボを整備しました。
- ⑦ 常勤医の約3分の2は、指導能力向上のための講習(指導医養成ワークショップ)を受講しています。受講者の割合は毎年増加しています。
- ⑧ 看護部、検査部、事務部などの協力により、病院全体で研修医を育てる体制を構築しています。

研修医の声



吉野 優一さん

杏林大学病院は多摩地区唯一の大学病院の本院です。専門性の高い希少な疾患が比較的多いほか、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターなどを備えており、救急医療に強いのが特徴です。特に重症熱傷、スーパー母体救命などが経験できるのは当院ならではです。一方で周辺に大きな病院がない立地からCommon diseaseも多く、市中病院のような側面も持っています。また当院独特の魅力として、出身大学の隔たりがないとても親しみやすい雰囲気があります。大学病院でありながら他大学出身の医師が多く在籍しており、研修医も同様に国立・私立、地域を問わず様々です。私自身が他大学の出身ですが、研修医・上級医との間で出身大学による壁を感じたことはありません。

せん。唯一困ってしまったことは、院内が迷路のように入り組んでいるため、道を覚えるまでが大変なことでしょうか(笑)。疑問や不安があるときにすぐに誰かに相談しやすい環境というのも当院での初期研修の魅力の一つです。研修医生活が始まってからは様々なことで困惑することが多々ありますが、同期の研修医が多くいるほか、上級医の層も幅が広いので、日頃の医療の疑問から今後の志望科の相談まで、頼れる相手も多くて実に心強い研修環境だと思います。杏林大学病院では、大学病院と市中病院のいいところ取りをしたような環境の中で研修生活を送ることができます。ぜひ一度当院に見学にいらいしていただければ、この魅力をお伝えできると思います。



佐藤 英里さん

私は杏林大学を卒業し、2020年4月に当院で初期研修を開始しました。当院は高度救命センターや総合周産期母子医療センター、脳卒中センターを持ち、特定機能病院として救急対応や高度医療に携わっている一方で、周囲に大きな病院がないことから地域の中核病院としての役割も担っています。そのためCommon diseaseから専門性の高い疾患まで幅広い症例に触れることができます。当院の初期研修は麻酔科2か月、3次救急2か月、1・2次救急2か月が必修であり、初期診療から全身管理までしっかりと学ぶことのできるプログラムになっています。私は学生時代から周産期医療や集中治療に興味があり、上記のような点に魅力を感じて当院で研修をすることに決めました。

研修医の人数が多く、手技や症例の取り合いになるのではと不安に思う方もいらっしゃると思いますが、全く困ることはありませんでした。むしろ興味のある分野や手技に関われるよう調整してくださり、思っていた以上の様々な経験ができました。また、初めての手技や診療を1人で行うことはなく、上級医監督の下で行うため安心して取り組むことができます。一方で、救急外来では研修医がファーストタッチを担当してアセスメント・プランを立て、上級医と相談しながら診療を進めていくため、緊急疾患を見抜く力や対応力を磨くことができます。当院は安心できる環境の中で様々な症例を経験し、研修医に必要な能力を充分身につけられる環境であると思います。是非一度、見学にお越しいただき、当院の雰囲気を感じていただければと思います。



田代 祥一さん(リハビリテーション医学教室 講師)

研修で大切なものはどんなことだとお考えでしょうか。それは皆さんの40年後はあるだろう医師人生をどのように豊かにしてゆくかという問いにつながるでしょう。医師としての器を形成するため方を、少し時間をかけて考えてみてください。偏りなくさまざまな疾患に触れること、これはおそらく正解でしょう。正しい知識を持ってしっかりと希少な疾患に向き合うこと、これも将来難解な症例に出会われたときに最適な選択を見出す上で有用でしょう。教育や研究、資格取得といった医師人生に彩りを添えるものを見聞すること。学生の時にさんざん見てきたようでも、180度立場を変え、自分の身に起こることとして考える機会は貴重です。これらに加えて、時に安らげ

る環境も実はとてもたいせつです。なぜなら皆さんはほどなくして自分の適性を見出して将来の進路を決めてゆかなければならないからです。三鷹の適度な自然と都会性、数多くの同期の存在、当院のずいぶんしっかりした労務管理は、頭を休めて思索の時間を取る助けとなってくれるでしょう。こうした種々の豊かさを持つ環境があるだけでなく、多摩地域唯一の大学病院・本院で、種々の高度医療センターを擁し、Common diseaseから希少疾患までの診療を死角なく行う杏林に勝る環境はなかなかありません。私の所属するリハビリテーション科も、「生活」という側面から患者さんのこれからの身体機能が可能なことを見定め、多職種から成るチーム医療でなんとかする、というアプローチを採ります。病気を治すという観点からは90度ずれた、変わった物の見方に触れることも皆さんの将来の診療に深みをもたらすものかもしれません。

初期臨床研修

平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策を取りました。

1. 厚生労働省の定める到達目標の大幅改訂に合わせ、病院全体および各分野の到達目標を見直しました。
2. 外科、産婦人科、小児科、精神科が必修となりましたが、当院のプログラムは従来からこれらの分野を必修にしていたので、必修科目の変更はありません。
3. 外来研修の必修化にも対応しています。
4. 「平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策を取りました。」について全国共通の評価表とともに、これまで用いていた評価票をもとにした当院独自の評価票を併用し、より正確できめ細かな研修評価を行います。
5. 28週間の自由選択期間がありますので、将来の進路に適した分野を選んで研修することができます。

選べる2つのプログラム

研修プログラム

杏林大学 医学部附属病院 一般コース

制度の定める必修科目である「内科(内科外来研修含む28週間)」、「救急(12週間)」、「外科(4週間)」、「産婦人科(4週間)」、「小児科(4週間)」、「精神神経科(4週間)」、「地域医療(4週間)」の他に、「麻酔科(8週間)」を必修とし、「救急と全身管理に強い医師」の養成をめざしています。自由選択期間は28週間あり、プログラム責任者の助言のもとに、将来の進路を見据えた自分なりのプログラムを組むことができます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内 科						麻酔科		外科	内科 外来	選 択	
2年次	救総	救急		産	精	小	地	選 択				

救総：救急総合診療科(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



杏林大学 医学部附属病院 産婦人科・ 小児科重点コース

「産婦人科・小児科重点コース」も基本的なコンセプトは「一般コース」と同じですが、小児科あるいは産婦人科の研修期間を長くとり、この領域の研修が重点的に行えるようになっています。ただし、小児科または産婦人科以外に、将来の進路に役立つと思われる科を研修することも可能です。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	産	小	外科	麻酔科		内科 外来	内 科					
2年次	救総	救急		精	地	選択	選択：原則として小または産					

救総：救急総合診療科(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



一人一人の夢を実現するために、 万全の研修環境を提供します

Training environment

医療施設

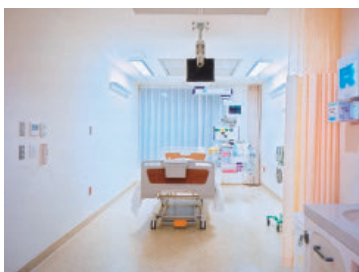
特定機能病院、東京西部地域の一・二次、三次救急医療の基幹病院およびがん拠点病院としての使命を担っています。平成7年には、厚生労働大臣の認定する全国10ヶ所(当時)の高度救命救急センターの一つに認定され医療の質、その規模、内容ともに全国トップクラスの評価を受けています。



手術室



TCC(高度救命救急センター)



ICU

クリニカル・シミュレーション・ラボ

クリニカル・シミュレーション・ラボラトリー(略称CSL)では、医師、医学部・保健学部の学生や教員、看護師、メディカルスタッフなどが随時トレーニングを行えるように、色々なシミュレーション器具を取り揃えています。

シミュレーター

蘇生(成人、小児)、心音、肺音、気道管理、中心静脈穿刺、腰椎穿刺、静脈注射、導尿、皮膚縫合、鏡視下手術、超音波装置、除細動装置、眼底・耳の診察、乳癌触診、直腸診など

主な設備

- 総床面積 …………… 約114m²
- ホワイトボード …………… 1台
- スクリーン …………… 1台



シミュレーション研修風景



図書館

医学図書館は、学園の教職員・学生のための施設です。約3,000m²の館内に約6万9千冊の医学図書があります。電子ジャーナルや文献データベースを中心としたオンラインサービスにも力を入れています。約10万3千タイトルのほか、臨床支援データベースのUpToDate、The Cochrane Libraryを導入して、診療・研究・教育活動をサポートしています。平日は8時30分から22時30分、土日祝日は9時から22時30分に開館しています。リモートアクセスサービスに登録すると、自宅から文献検索データベースや電子ジャーナルを利用することができます。個人ポータルサイト「MyLibrary」をお使いいただくと、オンラインで資料の予約、文献取り寄せの申込などができます。



大閲覧室



文献検索エリア



新着雑誌エリア

研修医室・研修医講義室

研修医1年目・2年目の学年ごとに研修医室があり、一人ひとりに机・ロッカーがあります。Wi-Fiの使用も可能となっています。



大学院講堂

講演会、学会、式典などに幅広く利用されています。席数：243席、車椅子席2台分



職員寮

(令和4年5月現在)

病院から徒歩10分圏内に、マンション形式の独身者用職員寮があります。(空き部屋がなく、入寮できない場合もあります。)

寮費／1か月

寮費36,500円・共益費3,000円・保険料200円

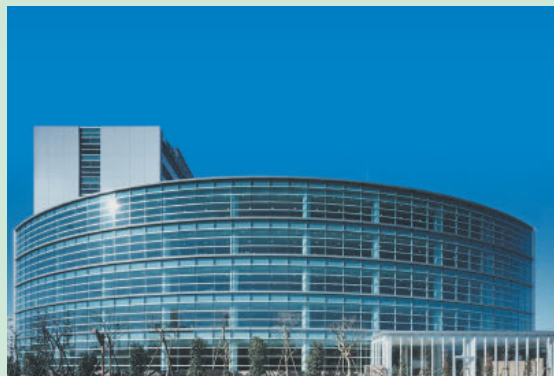
部屋の一例

占有面積約24m²／RC構造／3階建て／エアコン完備／バス・トイレ別／都市ガス／居間フローリング／室内洗濯機置き場有／CATV視聴可(武蔵野三鷹CTV)／駐輪場有／駐車場なし／オートロック／WiFi完備

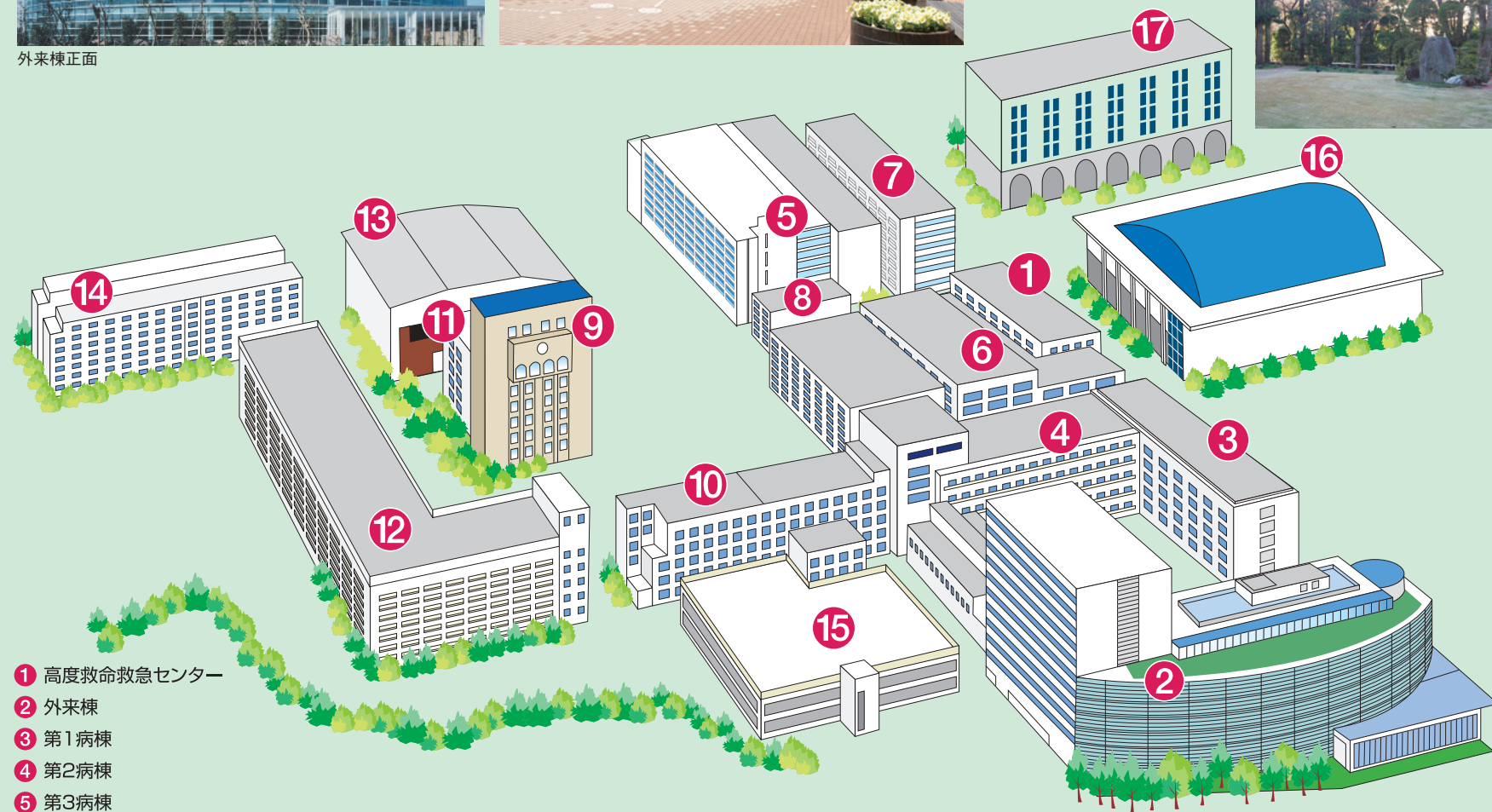


住みよい街、美しいキャンパスで 快適な研修生活を

Information on hospitals / Campuses and their surroundings



外来棟正面



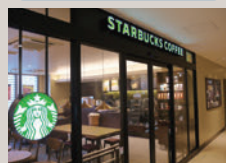
- ① 高度救命救急センター
- ② 外来棟
- ③ 第1病棟
- ④ 第2病棟
- ⑤ 第3病棟
- ⑥ 中央病棟
- ⑦ 外科病棟
- ⑧ D棟(研修医棟)
- ⑨ 医学資料情報センター(本部棟)
- ⑩ 医学部講義棟
- ⑪ 医学図書館
- ⑫ 基礎医学研究棟・臨床医学研究棟
- ⑬ 松田記念館
- ⑭ 看護医学教育研究棟
- ⑮ 病院駐車場
- ⑯ 松田進勇記念アリーナ
- ⑰ 新講義棟

院内アメニティ施設のご案内

ローソン



スターバックス



ナチュラルローソン



ガーデンテラス 日比谷松本楼



院内には、カフェや24時間営業のコンビニエンスストアなどのアメニティ施設があります。

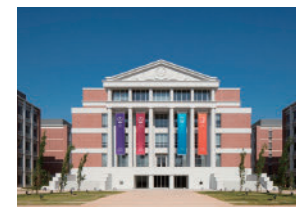
病院・キャンパス周辺情報



三鷹駅



吉祥寺駅



杏林大学 井の頭キャンパス



井の頭公園



三鷹の森ジブリ美術館
©Museum of Art Ghibli.



- A 職員寮
- B スーパーマーケット
- C 家電量販店
- D スポーツ用品店
- E ホームセンター
- F 洋服店
- G ゴルフショップ
- H コンビニエンスストア
- I 飲食店
- J カラオケ
- K ドラッグストア
- L 月極駐車場

安定した身分と充実した研修プログラムにより、 さまざまな領域で活躍できる医師の育成を目指します

Professional training

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

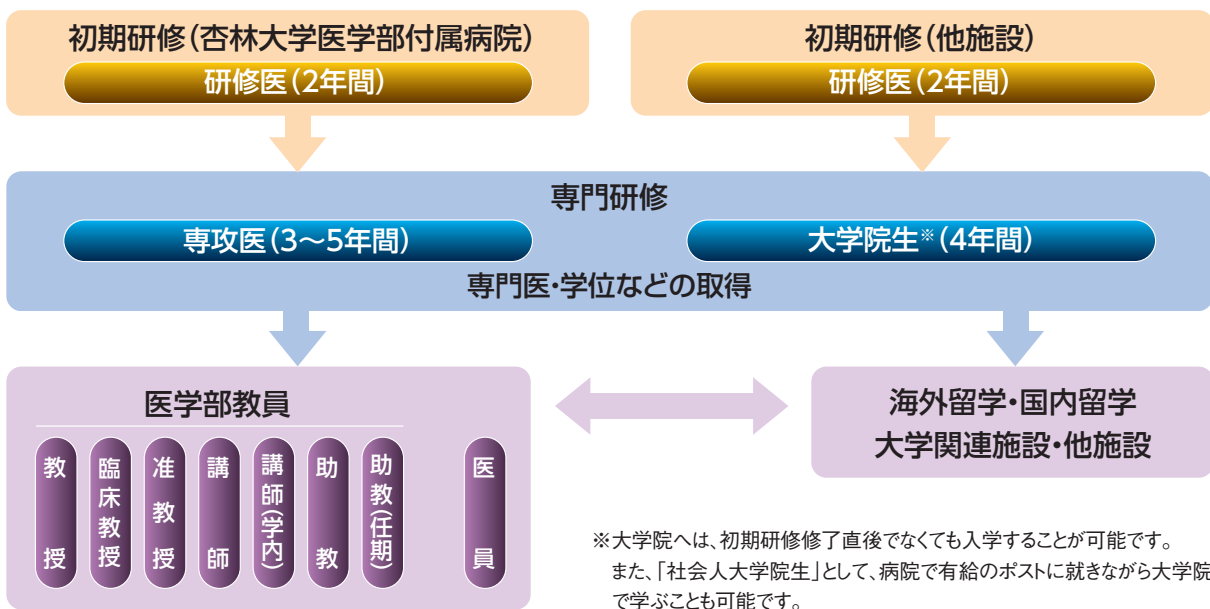
専門研修

個々のキャリア形成を親身になってサポートします。

平成30年度から開始された新専門医制度に則り、19の基本専門領域のすべてで「専門研修プログラム」を作成しました。専攻医の身分・処遇を明確にして経済的な不安がないようにしています。また、妊娠・出産、子育て、あるいは介護などでフルタイムの仕事ができない状況でも仕事を継続できるように支援しています。また、「社会人大学院」の制度があるので、研修医(2年目)あるいは専攻医として病院で勤務しながら、大学院の課程を修めることができます。専門医資格と学位(医学博士)の取得まで、責任を持って指導します。



杏林大学医学部附属病院の卒後教育の概要



杏林大学医学部附属病院の専門研修の理念と目的

大学内のみならず、医療界の様々な場面で活躍できる、次のような人材の育成をめざします。

- ① 高度の専門的な診療能力を持った医師
- ② 研究心、研究能力を持った医師
- ③ 後進を適切に指導する能力を持った医師

この目的を達成するために、安定した身分と処遇、各科の専門研修プログラムに基づいた適切な研修環境を提供します。

取得できる専門医・指導医資格

新専門医制度におけるサブスペシャリティの専門資格については現在検討中ですが、参考のため旧制度において当院での専門研修により取得できた資格を示します。

専門医など

下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医 外科周術期感染管理認定医 甲状腺外科専門医 呼吸器外科専門医 死体解剖資格 神経超音波検査士 心臓血管外科専門医 精神保健指定医 総合内科専門医 頭頸部癌専門医 内視鏡技術認定医 内分分泌科専門医 日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本医学放射線学会放射線科認定医・専門医 日本医学放射線学会放射線診断専門医・治療専門医 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医 日本化学療法学会抗がん化学療法指導医 日本カプセル内視鏡学会認定医 日本眼科学会専門医 日本感染症学会感染症専門医 日本肝臓病学会肝臓専門医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・教育医 日本緩和医療学会認定医・専門医 日本気管食道科学会気管食道科専門医 日本救急医学会専門医 日本区域麻酔学会認定医 日本形成外科学会専門医 日本外科学会外科専門医・指導医	日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医 日本血液学会専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本乳癌学会乳腺認定医・専門医 日本産科婦人科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本集中治療学会専門医 日本循環器学会専門医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本小児科学会専門医 日本小児外科学会専門医 日本小児麻酔専門医 日本食道学会食道科認定医 日本神経学会専門医 日本心臓血管麻酔専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本睡眠学会認定医 日本頭痛学会専門医 日本性機能学会専門医 日本整形外科学会整形外科専門医 日本精神神経学会精神科専門医 日本大腸肛門病学会専門医・指導医 日本胆道学会認定指導医 日本超音波医学会超音波専門医 日本てんかん学会認定医(臨床専門医) 日本透析医学会専門医	日本糖尿病学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内分泌学会専門医・指導医 日本乳癌学会乳腺認定医・専門医 日本認知症学会専門医 日本熱傷学会熱傷専門医 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会脳卒中専門医 日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 日本病理学会病理専門医 日本ペインクリニック学会専門医 日本ヘリコプター学会認定医 日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医 日本脈管学会認定脈管専門医 日本輸血・細胞治療学会認定医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本リハビリテーション医学会専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本臨床神経生理学会認定医 日本レーザ医学会レーザ専門医 日本老年医学会老年病専門医 日本老年精神医学会専門医 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医 臨床遺伝専門医
---	--	--

他多数

※取得できることを保証するものではありません。

専攻医の声



窪田 仰さん(小児科)

私は杏林大学を卒業し当院で初期研修を行いました。そして2021年4月より小児科入局し小児科専攻医として勤務しています。当科の後期研修は一般病棟では3ヶ月ごとにチームをローテートし、様々なサブスペシャリティを持つオープンのもと研修を行います。また1年のうち3ヶ月間はNICUで研修を行います。オープンは熱心な先生方が多く親身になって指導してください。また優しい先生方が多いので病棟や当直で困った時は相談しやすい有意義な研修ができています。当科の特徴としては非常に幅広い疾患を経験することがで

きることです。病棟には胃腸炎や喘息、川崎病など、common diseaseから、白血病や急性脳症など専門性の高い治療が必要な方など、さまざまな疾患、重症度の方が入院されており、救急外来においても3次救急まで対応しており、風邪の方から心肺停止や痙攣重篤などの緊急性の高い方も運ばれてきます。様々な疾患の方を実際に診療できるというのは小児科医として基礎を築く上でとても良い環境だと感じています。

当院は高度医療を提供する特定機能病院です。そして多摩地域の中核病院として地域に根ざした病院であり幅広い疾患をみることができます。また学閥などがなく、どの科もアットホームで雰囲気良く、研修するのにとても良い環境です。ぜひ一度見学に来ていただき、雰囲気の良いさを感じていただければと思います。



増田 萌さん(血液内科)

私は他大学卒業後、杏林大学付属病院で初期研修を行い、2021年4月に同病院の血液内科に入局しました。現在は内科専攻医として勤務しております。

内科専攻医は各診療科をローテーションしますが、研修医の頃とは違った立場、視点で診療に携わり、日々新たな経験を積んでいます。

当院における内科専攻の魅力は、common diseaseから希少疾患までの幅広い経験ができること、それぞれの診療科の上級医が親身であること、自分のペースで仕事ができることです。多摩地区の中核を担う病院の一つとして、悪性疾患や希少疾

患が集まると同時に、住宅街の中の病院でもあるため、一般的な疾患の診療も1,2次救急外来で経験します。また、違う診療科の上級医たちも忙しい中でも丁寧に内科専攻医の指導をしてくれます。内科全体で専攻医を教育する雰囲気があるため、同期の中でも症例を取り合うのではなく助け合う風潮が強いです。

専攻医の仕事の範囲は診療科によって異なりますが、メインは病棟の管理になります。勉強や研究に関しては、関心がある人にはどんどん応えてもらえますが、忙しい時に強制されることもないため、ワークライフバランスも取りやすい環境です。個人の選択を尊重しながらも月に一回の指導医の会議がセーフティネットになり、充実した後期研修生活を過ごしております。

指導医の声



松島 実穂さん(産科婦人科)

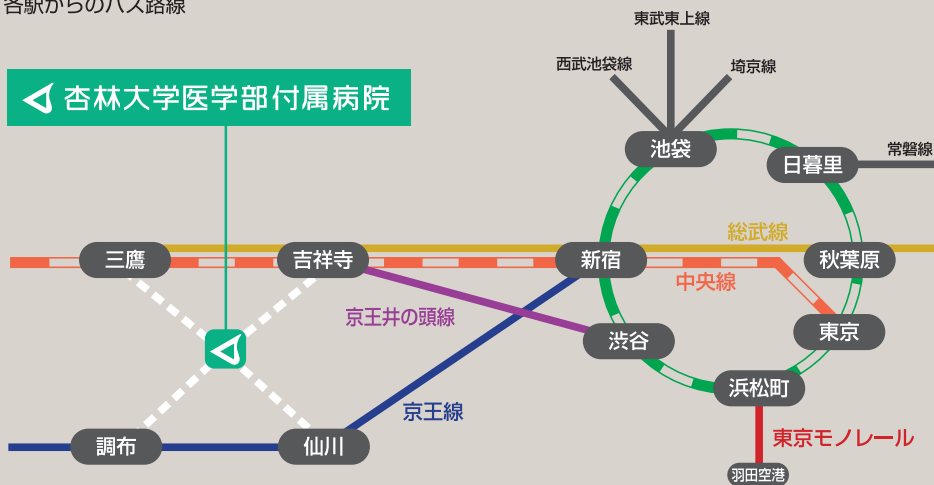
医学生、研修医の皆さん、初めまして。私は2005年に杏林大学医学部を卒業し、他院にて研修をした1年間を除き、初期臨床研修からずっと杏林大学医学部附属病院に勤務しています。私の所属する産科婦人科は、総合周産期母子医療センターとして最重症の妊婦さんと赤ちゃんを救うという重大な役割を担っています。経過が順調で健やかな出産から、様々な疾患のある妊婦さんや胎児の管理を幅広く行います。どのような出産においても最善を尽くし、ここで出産してよかったと思っていただけるよう日々取り組んでいます。

当院の大きな特徴の一つは、病院全体の風通しが良く、医師やスタッフの協力体制がしっかりしていることです。とくに産

婦人科は、小児科、救急科、小児外科、放射線科、麻酔科など様々な診療科や、助産師、手術部などとの協力がなければ成り立ちません。日頃から積極的に交流し、合同の研修会を開催し、患者さんにとってより良い診療が提供できるよう目指しています。もう一つの特徴は、学生や研修医の皆さんに指導することに熱心な医師がたくさんいることです。産婦人科では分娩や超音波など複数のシミュレーターを使用し、実践に近い形式での研修の機会をたくさん準備しています。少しの時間を使って勉強会も行いますし、いずれ論文を書くときの基礎力になるレポート作成も一対一で丁寧に指導します。初期臨床研修には産婦人科・小児科重点コースもあります。皆が生き生きと仕事をしている様子を見て頂ければ、きっと伝わるとおもいます。是非見学にいらしてください!

----- 各駅からのバス路線

杏林大学医学部付属病院



■ JR中央線 三鷹駅南口＜約20分＞

- のりば7 仙川行、晃華学園東行、新川団地中央行→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば8 野ヶ谷行→「杏林大学病院入口」バス停下車

■ JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口＜約20分＞

- のりば6 野ヶ谷行、深大寺行→「杏林大学病院入口」バス停下車
- のりば6 調布駅北口行（杏林経由）→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば7 仙川行、新川団地行、杏林大学病院前行→「杏林大学病院前」バス停下車

■ 京王線 仙川駅＜約15分＞

- のりば1 吉祥寺駅中央口行、三鷹駅行→「杏林大学病院前」バス停下車
- ※バス停は商店街を抜け、甲州街道を渡ったところにあります。

■ 京王線 調布駅北口＜約24分＞

- のりば11 杏林大学病院前行→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば12 吉祥寺駅-吉祥寺駅中央口行（野ヶ谷経由）→「杏林大学病院前」バス停下車

各種お問い合わせは下記へご連絡ください。

TEL:0422-47-5511(代)

k-match@ksot.kyorin-u.ac.jp

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部付属病院 総合研修センター